

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	福祉住環境コーディネーター対策
<b>科目基礎情報</b>				
開設学科	建築設計科	コース名		開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位			授業形態 講義
教科書/教材	福祉住環境コーディネーター検定試験 3級公式テキスト/福祉住環境コーディネーター3級過去&模擬問題集			
<b>担当教員情報</b>				
担当教員	岩田 明士	実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士	
<b>学習目的</b>				
<p>これからの日本は高齢化社会さらには超高齢化社会になりつつある。建築に携わる設計者・施工者も否応なしに高齢者や障害者に対する対応が迫られる。その時にしっかりと知識を身につけて資格を取ることができれば社会的評価を得ることができる。社会に出る前に一つでもスキルを身につけ就活や仕事にいかすことを目的とする。</p>				
<b>到達目標</b>				
<p>少子高齢化社会の現状・重要性、高齢者の健康と自立、バリアフリーとユニバーサルデザイン、住まいの安全性と安全なまちづくりを学習し、福祉住環境コーディネーター3級の資格を取得することが到達目標である。</p>				
<b>教育方法等</b>				
授業概要	まとものあるテキストを用いて、項目ごとに要点を理解させ問題を解かせる。そして年度ごとの過去問を解いていくことにより問題になれ、宿題も含めて反復することにより記憶していくようにする。			
注意点	この授業では、段階的に理解していかないと遅れをとるため、遅刻・欠席は厳禁とする。体調不良などで休まなくてはならない場合は、自分で学習し後れを取らないようにすること。予習・復習・問題を解くことを自宅でも行うこと。やりっぱなしにせず解いた問題の復習は何よりも効果がある。			
評価方法	<b>種別</b>	<b>割合</b>	<b>備考</b>	
	本試験の結果	60%	本試験の結果を総合的に評価する	
	小テスト	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	出席状況	15%	段階的な理解度としての評価	
	平常点	10%	授積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
<b>授業計画（1回～15回）</b>				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	暮らしやすい生活環境をめざして	少子高齢化社会の現状と課題、福祉住環境整備の必要性		
2回	暮らしやすい生活環境をめざして	介護保険制度の仕組みを理解。項目別過去問による読解		
3回	健康と自立を目指して	高齢者の健康(食事と運動)と自立		
4回	健康と自立を目指して	障害の種類と自立の方策。項目別過去問による読解		
5回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方		
6回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	さまざまな用具。項目別過去問による読解		
7回	安全・安心・快適な住まい	住まいの整備のための基本技術		
8回	安全・安心・快適な住まい	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい		
9回	安全・安心・快適な住まい	項目別過去問による読解		
10回	安心できる住生活とまちづくり	ライフスタイルの多様化と安心できる生活環境/項目別過去問による読解		
11回	模擬試験	過去問による力試し		
12回	模擬試験	過去問による力試し		
13回	模擬試験	過去問による力試し		
14回	本試験の解説	本試験の答え合せ及び解説		
15回	福祉器具等の体験	福祉用具体験施設の体験		